

# 知床岬沖海上における コクチョウ *Cygnus atratus* の記録

金澤裕司

086-1834 北海道目梨郡羅白町礼文町 9-3, 北海道羅白高等学校

## A Record of Black Swan *Cygnus atratus* off the Coast of Cape Shiretoko, Hokkaido

KANAZAWA Yuji

Hokkaido Rausu senior high school, 9-3 Rebun-cho, Rausu, Hokkaido 086-1834, Japan. owl@camel.plala.or.jp

### はじめに

コクチョウ *Cygnus atratus* は、オーストラリアとタスマニアに分布し、ニュージーランドには、人工的に導入され定着している。成鳥は、110–140 cm, 体重 3,700–8,750 g, 翼開長 160–200 cm で、小翼羽、初列風切と次列風切の外側は白色だが休んでいる時には普通隠れている。虹彩は、ピンクまたは赤みがかっている。メスは一般により小型で光彩と嘴はよりくすんだ色をしている。幼鳥は褐色で灰色の小斑があり、嘴の色は薄い淡水または塩水の浅い大きな湖や潟湖を好むが、繁殖期以外では川や沼、海岸などの水辺に生息する (Carboneras 1992)。

我が国では本州を中心として日本各地の庭園、堀などで飼育されており、繁殖力が強く個体数を増やしている。これら飼育地から移動したと思われる個体の観察例が東北地方など近年各地で増えている。

筆者は 2007 年 5 月上旬、知床岬文吉湾付近の海上でコクチョウの幼鳥 1 羽を観察した。知床半島でのコクチョウの観察は初記録であると思われるので、ここに報告する。

### 観察記録

観察したのは 2007 年 5 月 5 日で船上から行っ

た。船は羅白町の知床ネーチャークルーズ所属の「エバグリーン」(長谷川正人船長)である。この航海はホエールウォッチングを目的として実施されたものである。午前 9 時に羅白港を出港し、沖合約 2 km を海岸線に沿って知床岬方向に進み、赤岩付近からは海岸線から約 500 m に近づいて航行した。航路は知床岬からさらに斜里側へ回り込み、文吉湾沖で引き返すコースをとった。船上から双眼鏡と肉眼で主に海上の鳥類を観察し、その種を記録した。天候は曇り、海上の視程は 10 km 以上あった。

コクチョウを観察したのは、午前 11 時頃、知床岬西のアブラコ湾と文吉湾の中間地点の沖合約 500 m の海上である (図 1)。観察時の風は弱く、波は穏やかであった。船はここで海鳥や岬台地上のエゾシカなどの観察のために停船していた。

海上を遊泳していたコクチョウは、全体が灰色で大きさや形からハクチョウ類であることは明らかであった。一見するとオオハクチョウの幼鳥のようにも見えたが、風切り羽先端が黒いために翼を広げたときに 1 本の白い帯が見えた点、嘴に赤味がない点 (黒田 1939) からコクチョウの幼鳥と判断できた (図 2)。

コクチョウ幼鳥は海上を単独で遊泳していたが、船の接近によって飛び立ち海岸線に沿って半

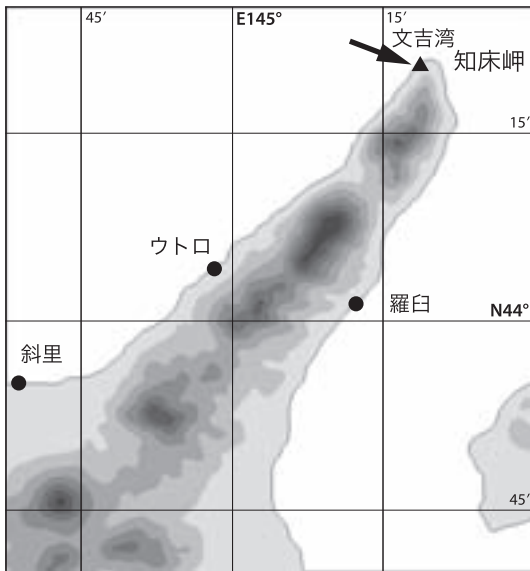


図 1. コクチョウ *Cygna atratus* の観察場所 (斜里町文吉湾沖).

島基部, ウトロ方向へ飛び去った. 周辺の海上には他にウトウ, ハシボソミズナギドリ, オオセグロカモメなどが観察された. また, この航海全体では, 他にウミウ, ウミネコ, ユリカモメ, ハシブトガラスが観察され, 哺乳類では 10 頭以上のイシイルカが観察された.

## 考察

コクチョウは, 本州の複数の場所で飼育されていて自然繁殖の例も多い. 中でも茨城県水戸市の偕楽園千波湖では 1978 年に宇都宮市から導入したコクチョウが繁殖を続け, 2006 年には 58 羽に達しているという (東京新聞 2006 年 5 月 11 日). 水戸市のコクチョウは自由に飛び回れる状態で飼育されており, 東北各地で観察されたコクチョウは, 水戸市から飛来した可能性がもっとも大きいと考えられ, 今回観察した幼鳥も水戸市の個体かまたは, 水戸市から出て別の場所で繁殖した個体である可能性がある.

道東におけるコクチョウの観察例は 2004 年 4 月浜中町散布 (チリップ) 沼 (霧多布湿原学校ウェブサイト <http://www.htb.co.jp/nature/kiritappu/list3.html>), および 2007 年 3 月野付半島オンニクル付近におけるもの (深津恵太私信) がある. 特に, 2007 年 3 月の個体は, 本観察例との関連

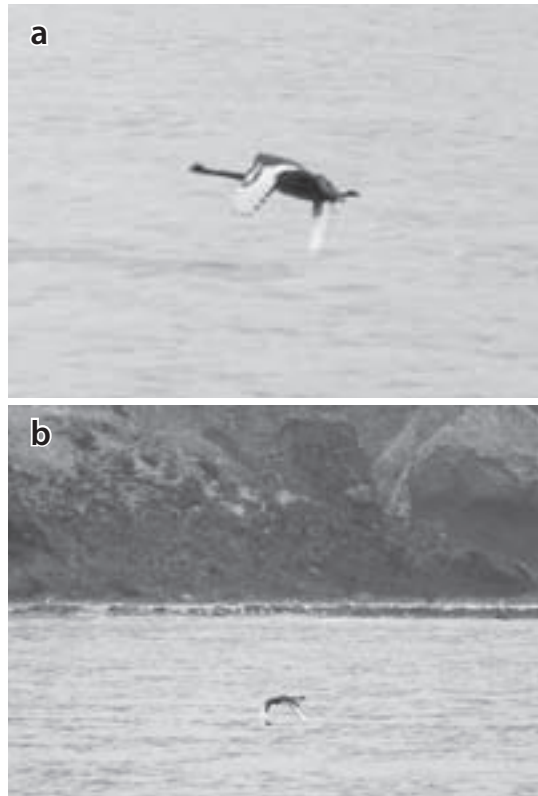


図 2. 斜里町文吉湾沖でみられたコクチョウ *Cygna atratus*. 撮影: 金澤裕司, 2007 年 5 月 5 日. a: 海面低く飛翔する. b: ウトロ方向へ飛翔する.

が推測されるが, 観察した深津恵太氏の話によるとこの個体は成鳥で, かつ単独行動していたとのことであった. したがって, 今回報告した個体は別のものと考えられる.

## 謝辞

本報告を執筆するにあたって深津恵太氏には有益な情報をいただいた. ここに記して謝意を表す.

## 引用文献

- Carboneras C. 1992. Family ANATIDAE (DUCKS, GEESE, AND SWANS). in: der Hoyo J., Elliott A. & Sargatal J. (eds.), Handbook of the Birds of the World 1. pp. 536–628. Lynx Editions, Barcelona.
- 黒田長禮. 1939. 雁と鴨. 121 pls. + 121 pp. 修教社書院, 東京.